

計画事業番号	00333	事務事業名	郷土文化伝承支援事業	担当部署	教育部エコミュージアムセンター	電話	372-0158
--------	-------	-------	------------	------	-----------------	----	----------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則			
事務事業開始年度	平成2年度		個別計画等	北広島市文化振興計画「創造の時代への企画書」			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 5 節) 歴史の継承と創造	
	(施策 2) 文化財の保存と活用	
2 対象	広島音頭保存会、北広島ふるさと太鼓保存会	
3 目的と内容	<p>【事業概要】 北広島の郷土芸能の一つとして後世に伝えるため、保存・継承していくことを支援する。</p> <p>【事業の目的】 市にとって郷土芸能は貴重であり、その普及に行政が関与することは、協働の観点から必要であり、まちづくりの一環としても大切な事業である。</p>	
4 実施内容 (手段)	を	<p>(1)広島音頭保存会 42千円 北広島の郷土芸能として「広島音頭」の踊りを末永く保存し、市民に広く保存し、市民に広く普及することを目的とした活動に補助を行う。</p> <p>(2)北広島ふるさと太鼓保存会 170千円 北広島市の郷土芸能として「北広島ふるさと太鼓」を伝承し、その担い手として子どもたちを育成指導して、市民に広く普及することを目的とした活動に補助を行う。</p>
	28年度	昨年と同様の交付を行う。

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
広島音頭保存会への助成 北広島ふるさと太鼓保存会への助成	(1)広島音頭保存会助成 42千円 (2)北広島ふるさと太鼓保存会 170千円	広島音頭保存会への助成 北広島ふるさと太鼓保存会への助成	広島音頭保存会への助成 北広島ふるさと太鼓保存会への助成	広島音頭保存会への助成 北広島ふるさと太鼓保存会への助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			212	212	212	212
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	212	0	0
		一般財源	212	0	212	212
		① 合計	212	212	212	212
	人件費	② 人数(年間)	0.30	0.30	0.30	0.30
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	2,700	2,700	2,700	2,700
		総事業費①+④	2,912	2,912	2,912	2,912

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①音頭保存会会員数	目標値	70	70	70	70
		実績値	60			
	②北広島ふるさと太鼓保存会	目標値	25	25	25	25
		実績値	36			
	③	目標値				
		実績値				
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	①音頭普及事業成果 参加者人数	目標値	700	700	700	700
		実績値	800			
	②ふるさと太鼓普及成果 公演回数	目標値	10	10	10	10
		実績値	10			
	③	目標値				
		実績値				
【指標の定義(算式等)】		実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市にとって郷土芸能は貴重なものであり、まちづくりの一環としても大切な事業である。この郷土芸能はさらに地域に根ざしたものにしていくために行政が関与していかなければならない。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	郷土愛やふるさと意識の醸成をはかるための公演事業等において、その出演回数や参加人数から達成度合いは高い。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	市民が主体的に郷土芸能を保存・活用し伝承活動を、継続的に行っている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	利益がそのまま市民へ還元される事業なので、コスト削減は困難。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 333-1

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	広島音頭保存普及事業補助金		
交付先の名称 及び代表者名	広島音頭保存会 会長 白石 コウ	設立年	平成3年
構成員(団体)数	60 (28年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	北広島の郷土芸能として「広島音頭」の踊りを末永く保存し、市民に広く普及することを目標とする。		
交付先団体等の 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島音頭の保存と普及のため、講習会の開催や講習指導を行う ・ 北広島ふるさと祭りをはじめとする市内行事への積極的参加 など 		
事務局の状況 (27年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況 (27年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額 (A)	42	42	42	
	事業収入	25	30	30	
	会費	3	3	3	
	雑収入	1			
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	71	75	75	
支 出	旅費	30	20	20	
	需用費	10	6	6	
	役務費	3	4	3	
	委託料	21	21	26	
	借上料	7	24	20	
	支 出 合 計 (C)	71	75	75	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市 補助・交付金の割合 (A)÷(C)	59 %	56 %	56 %	
	補助・交付金の対象経費 (項目)	すべての経費	すべての経費	すべての経費	
	補助・交付金の対象経費 (金額) (D)	71	75	75	
	対象経費に対する補助 または 交付金の割合 (A)÷(D)	59 %	56 %	56 %	
	補助・交付金の算出根拠				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 333-2

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	ふるさと太鼓保存事業補助金		
交付先の名称 及び代表者名	北広島ふるさと太鼓保存会 会長 藤山康雄	設立年	昭和55年
構成員(団体)数	36名 (28年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	北広島の郷土芸能として「北広島ふるさと太鼓」を末永く保存し、市民に広く普及することを目的とする。		
交付先団体等の 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「北広島ふるさと太鼓」の伝承活動 ・技術向上に向けての研修及び練習 ・各種祭典への出演と協力 ・後継者の育成 など 		
事務局の状況 (27年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況 (27年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額 (A)	170	170	170	
	負担金	16	14	20	
	事業収入	155	110	100	
	雑収入	0		2	
	繰入引当戻入収入			400	
	繰越金	64	85	97	
	収 入 合 計 (B)	405	379	789	
支 出	需用費	36	19	85	
	役務費	56	55	89	
	借上料	84	102	85	
	その他	144	106	530	
支 出 合 計 (C)	320	282	789		
繰越金	収入(B) - 支出(C)	85	97	0	
全体支出に対する本市 補助・交付金の割合 (A)÷(C)		53 %	60 %	22 %	
補助・交付金の対象経費 (項目)		事業全体	事業全体	事業全体	
補助・交付金の対象経費 (金額) (D)		170	170	170	
対象経費に対する補助 または 交付金の割合 (A)÷(D)		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の算出根拠					